



修善院

## 神田敬州さんに教わる 俊足の神様 韋駄天

修善院住職、佛通寺(三原市)宗務総長を務める。世羅高校陸上部OBでもあり、世羅高陸上部員が修善院に早朝坐禅に訪れるなど交流が続いている。



修善院に奉納されている世界のトップアスリートたちのシューズ

**A.** 世羅町の高台にある修善院には、俊足の神様「韋駄天」をお祭りしています。そのため、世羅高校はもちろん、数多くのアスリートなどが健脚を願って参拝されます。また、たくさんのトップアスリートのシューズが奉納されていて、なかにはマラソンの高橋尚子さん、野口みずきさん、ロザ・モタさん、君原健二さん、有森裕子さん、400Mリレーの朝原宣治さん、山縣亮太さんなど、オリン

**A.** 修善院の韋駄天は、風水思想に基づき、境内の西の一隅から真東に、京都と比叡山の方向に向かって合掌して建立されています。全国で唯一、屋外に奉られる石像の韋駄天像でもあります。いつでもお参りすることができます。

**Q.** 修善院の韋駄天像に特徴はありますか？

ビックメダリストたちのシューズも。これらは韋駄天講の日以外は原則非公開ですが、2週間以上前に電話予約していたければ、日程を調整してお見せすることもできますよ。



韋駄天って？

### column

韋駄天さまは仏法の守護神で、捷疾鬼(しょうつぎ)という足の速い鬼が、お釈迦さまの遺骨(仏舍利)を奪って逃げたとき、韋駄天さまが追いかけて取り戻した俗伝から、「俊足の守護神」として知られるようになったといわれます。そこから足の速い人を「韋駄天」と呼ぶようになりました。また、「ご馳走(ごちそう)」の「馳走」とは「馳せ走る」という意味。韋駄天さまが人びとのために走り回って日々の糧と幸福を集めたことから、食糧の生産や運搬、調理などの食物へ感謝を表す言葉として「ごちそうさま」という言葉が生まれたといわれています。

毎年11月第2土曜の午後12時に「韋駄天講くつ供養祭」が営まれ、奉納シューズが一般公開される



修善院  
☎ 090-7910-1262  
(または0847-22-4400  
世羅町観光協会)

📍 世羅郡世羅町本郷 1238  
※奉納シューズの特別拝観を希望する場合は、2週間以上前に要予約。拝観料 500円(高校生以下無料)

世羅幸水農園

## 光元秀和さんに教わる 梨



世羅幸水農園販売部長。世羅幸水農園国産「ビルネ・ラーデン」で梨のほか、世羅産の果実、特産物、ワインなどの加工品を販売している。



幸水

**Q.** どうして梨は世羅の名産になったの？

**A.** 1963年、「稲作に加え、もう一つ軸となる生産物を作りた」と考え、世羅の農家26戸が農事組合法人となり、梨の栽培を始めました。標高が高く、昼夜の寒暖差が大きいため、梨栽培に最適だったのです。最初に手掛けたのは、栽培に手間がかからない無袋栽培の赤梨でした。

**Q.** 今、世羅ではどんな品種が栽培されているの？

**A.** 主に「愛甘水」「新水」「幸水」「豊水」「あきづき」「南水」「新高」「新王秋」「豊月」を栽培しています。8月初旬に「愛甘水」が収穫期を迎え、10月半ばに「豊月」が収穫されるまで、世羅にはたくさんの梨がお目見えします。収穫時期が少しずつずれるよう、さまざまな品種を植える工夫がなされています。

**Q.** おいしい梨を届けるための努力や工夫を教えてください！

**A.** 梨の苗は、3年目くらいから実を付け、5年目くらいには出荷できるサイズの実がなります。梨の安定した収穫のためには、樹の根腐れを防ぎ、害虫から守ってやるのが大切。日々の管理が欠かせません。7年前から新たな剪定方法を導入したことで、枝が強くなり収穫量が増えました。

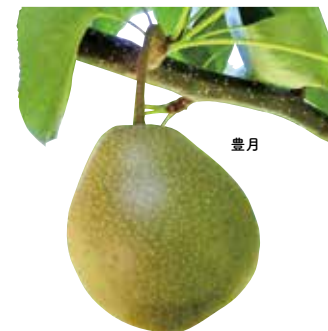
幸水農園で最古の梨の木は、樹齢60年以上！いまも現役です！



世羅幸水農園 ビルネ・ラーデン  
☎ 0847-25-0174

📍 世羅郡世羅町本郷 365-24  
🕒 8:00~17:00  
(ビルネ・ラーデンは夏季~17:30)  
休み/1月~3月上旬の水曜、年末年始

これからも技術力向上に励んでおいしい梨をお届けしたいと思います。



豊月